

第91回原子力規格委員会 議事録

1. 日 時 2024年10月9日(水) 13時30分～16時10分

2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4階 A, B会議室 (Web会議併用)

3. 出席者 (敬称略, 順不同)

出席委員：阿部委員長(東京大学), 吉田副委員長(日本原子力発電), 斉藤幹事(東京大学) *1,
大坂(日立GEニュークリア・エナジー), 室伏(東芝エネルギーシステムズ), 佐藤(MHI NSエンジニアリング),
神坐(富士電機), 岡本(関西電力)*2, 尾崎(中部電力), 波木井(東京電力HD), 藪内(鹿島建設),
小山(日本製鋼所M&E), 伊藤(日本原子力研究開発機構), 三浦_副(電力中央研究所),
村上(東京大学) *3, 爾見(発電設備技術検査協会), 吉岡(日本電気協会),
望月(大阪大学, 構造分科会長), 山本(名古屋大学, 原子燃料分科会長),
上叢(日本アトム[®]協会, 放射線管理分科会長) (計 20名)

代理出席：三浦_副(中部電力, 中條品質保証分科会長代理) (計 1名)

欠席委員：大平(日本原子力発電), 高田(東京大学, 安全設計分科会長),
藤田(東京電機大学, 耐震設計分科会長), 出町(東京大学, 運転・保守分科会長) (計 4名)

常時参加者：鈴木(原子力安全推進協会), 富田(電気事業連合会), 岡田(電気事業連合会) (計 3名)

説明者：原子燃料分科会 原子燃料運用検討会 浦野主査(中部電力), 高橋副主査(東北電力),
青木委員(三菱原子燃料), 阿保委員(日本原燃), 鈴木委員(日本原子力発電),
坂本常時参加者(日本原燃)
運転・保守分科会 緊急時対策指針検討会 安田主査(北陸電力)
安全設計分科会 安全設計指針検討会 板東主査(東京電力HD) (計 8名)

傍聴者：なし (計 0名)

事務局：奥村, 高柳, 中山, 川口, 景浦, 原, 美濃, 浅見, 上野, 梅津, 田邊(日本電気協会) (計11名)

*1：15:00 頃に途中参加。

*2：議題(2)より委員として出席。

*3：15:00 頃に途中退席。

4. 配付資料：別紙参照。

5. 議 事

事務局から、本委員会にて私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないこと及び録音することを確認の後、議事が進められた。

(1) 会議開催定足数確認他

事務局より、代理出席者1名の紹介があり、原子力規格委員会規約第8条(委員の代理者)に基づき、委員長の承認を得た。出席者は代理出席者も含めて現時点で委員総数24名に対して18名の出席であり、定足数確認時点で原子力規格委員会規約第11条(会議)第1項に基づく出席委員は委員総数の3分の2以上の出席という会議開催定足数の条件を満たしているとの報告があり、その後、常時参加者3名の紹介があった。続いてWeb

会議に対する注意事項の後、第92回原子力規格委員会は、2024年12月25日（水）午後を予定しており、各委員の予定確保をお願いするとの説明があった。その後配布資料の確認を実施した。

(2) 原子力規格委員会委員、分科会委員の承認

1) 原子力規格委員会委員の承認（審議）

事務局より、資料 No.91-1-1 に基づき、前回の原子力規格委員において 2 名の委員が退任しているため、阿部委員長より原子力委員会規約第 6 条（委員の選任・退任・解任及び任期）第 2 項に基づき、委員より新委員候補を推薦して欲しいとの発言があり、発電設備技術検査協会の爾見委員より、関西電力の岡本氏を推薦したいとの発言があり、その他の委員からの推薦が無かったため、原子力委員会規約第 6 条（委員の選任・退任・解任及び任期）第 1 項に基づき委員としての承認について、原子力委員会規約第 14 条（決議）第 4 項に基づき、挙手による決議の結果、出席委員全員の賛成により承認された。

2) 分科会委員の変更及び承認（審議）

事務局より、資料 No.91-1-2 に基づき、下記分科会委員の変更の紹介があり、分科会規約第 6 条（委員の選任・退任・解任及び任期）第 1 項に基づき、新委員候補の分科会委員としての承認について、原子力規格委員会規約第 14 条（決議）第 4 項に基づき、挙手により決議の結果、出席委員全員の賛成により承認された。

【安全設計分科会】

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・退任 沼田 幹事（関西電力） | ・新委員候補 大鋸谷 氏（同左） |
| ・退任 寺門 委員（日本原子力発電） | ・新委員候補 日下 氏（同左） |

【構造分科会】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・退任 北村 委員（関西電力） | ・新委員候補 坂口 氏（同左） |
| ・退任 毎熊 委員（九州電力） | ・新委員候補 山下 氏（同左） |

【原子燃料分科会】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・退任 内川 委員（中部電力） | ・新委員候補 浦野 氏（同左） |
| ・退任 島田 委員（日本原子力発電） | ・新委員候補 中西 氏（同左） |
| ・退任 藤中 委員（関西電力） | ・新委員候補 石田 氏（同左） |
| ・退任 吉永 委員（九州電力） | ・新委員候補 松尾 氏（同左） |

【品質保証分科会】

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・退任 高石 委員（富士電機） | ・新委員候補 鈴木 氏（同左） |
| ・退任 阿部 委員（東北電力） | ・新委員候補 鹿野 氏（同左） |
| ・退任 小川 委員（中国電力） | ・新委員候補 吉川 氏（同左） |
| ・退任 佐藤 委員（日本原燃） | ・新委員候補 藤谷 氏（同左） |

【耐震設計分科会】

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ・退任 岩森 委員（関西電力） | ・新委員候補 松田 氏（同左） |
| ・退任 林 委員（日本原子力研究開発機構） | ・新委員候補 中山 氏（同左） |

【放射線管理分科会】

- | | |
|--------------------|-----------------|
| ・退任 伊藤 委員（中部電力） | ・新委員候補 井上 氏（同左） |
| ・退任 今井 委員（北陸電力） | ・新委員候補 山口 氏（同左） |
| ・退任 大浦 幹事（日本原子力発電） | ・新委員候補 笹木 氏（同左） |
| ・退任 山瀬 委員（千代田テクノ） | ・新委員候補 江寄 氏（同左） |

【運転・保守分科会】

- ・退任 尾高 委員 (関西電力)
- ・退任 松崎 委員 (九州電力)
- ・退任 松澤 委員 (東京電力 HD)
- ・退任 長谷川 委員 (BWR 運転訓練センター)
- ・新委員候補 山本 氏 (同左)
- ・新委員候補 芦谷 氏 (同左)
- ・新委員候補 関根 氏 (同左)
- ・新委員候補 岩垂 氏 (同左)

(3) 規格案の審議

1) JEAG4225「原子燃料に係る臨界安全指針」制定案(審議)

原子燃料分科会 原子燃料運用検討会 浦野主査より、資料 No.91-2 シリーズに基づき、JEAG4225「原子燃料に係る臨界安全指針」制定案について説明があった。

JEAG4225「原子燃料に係る臨界安全指針」制定案について書面投票に移行するかについて審議の結果、承認された。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 「1.5 用語の定義」の中で引用されている JIS Z4001 については、その原案作成団体の日本原子力学会において廃止が検討されているとのことであるが、まだ決定していないためこのままで良い。なお、日本電気協会として JIS Z4001 を廃止しては困るという意見があれば、日本原子力学会に申し入れたい。これについては事務局と相談して進めていきたい。
- ・ 規格案(資料 No.91-2-1-2)の P.18 の図 2.2 中の【安全評価の要求事項】の箱の中の言葉「・保守的な仮定に基づく」は、P.17 の図 2.1 と比べると、【安全評価の要求事項】の箱の中の言葉「・保守的な仮定に基づく評価モデル」の記載の間違いと思うが、誤記であれば修正をお願いします。
→ 確認する。
- ・ 「1.3 関連法規等」に「(5) 核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則」があるが、この規格の中で使っているのか。
→ 使っている。例えば、ウラン燃料加工施設から発電所へのウラン燃料集合体の輸送は適用範囲内であり、指針の中でこの規則が引用されている。
- ・ 本指針は、原子力規格委員会において中間報告を実施し、出された意見に対して対応をしたということであり、書面投票に移行して良いと判断する。

○ 特に異論がなかったため、JEAG4225 制定案について、下記条件で書面投票に移行するかについて、原子力規格委員会規約第 14 条 (決議) 第 1 項に基づき、挙手による決議の結果、出席委員全員の賛成で承認された。

- ・ 書面投票期間は 10 月 10 日 (木) から 10 月 30 日 (水) の 3 週間とする。
- ・ 書面投票の結果、可決された場合には公衆審査 (2 ヶ月間) に移行する。なお、公衆審査開示までの編集上の修正については、原子力規格委員会の委員長、副委員長及び幹事に判断を一任する。
- ・ 公衆審査で意見が無く、以降発刊迄の編集上の修正については、出版準備 (校閲) の範疇として、分科会の責任で修正を行う。
- ・ 編集上の修正範囲内での意見があった場合には、原子力規格委員会の委員長、副委員長及び幹事の判断により編集上の修正を承認し、修正内容について委員に通知をして、発刊準備に入る。
- ・ 編集上の修正を超える修正を要する意見があった場合には、別途審議 (書面投票又は委員会審議) を行

う。

(4) 規格の策定状況（中間報告）

1) JEAG4102「原子力発電所の緊急時対策指針」改定案(報告)

運転・保守分科会 緊急時対策指針検討会 安田主査より、資料 No.91-3 シリーズに基づき、JEAG4102「原子力発電所の緊急時対策指針」改定案について中間報告があった。

JEAG4102については、中間報告ということで10月10日(木)から11月9日(土)の約1ヶ月間意見伺いを実施することになった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 資料 No.91-3-1-1 の2頁で、2020年10月及び2023年11月の原子力災害対策指針の改正に伴い、緊急事態区分を判断する緊急時活動レベル(EAL)の見直し等が行われたとあるが、2020年の原子力災害対策指針改定以降、JEAG4102は使用できない状態であったということなのか。大学でも、自分たちが使用するEALが改定されれば、自らのルールを改定していくと思う。
- JEAG4102は事業者がEALを適切に解釈して運用していくために必要な指針であると考えており、原子力災害対策指針の改定に伴ってなるべく早くJEAG4102の改定を進めていく必要があることも認識している。事業者としてはまず法令をしっかり順守していく、JEAG4102はそれをしっかり補完するものと認識している。
- 原子力災害対策指針の2020年及び2023年の改正については事業者でも当然把握しており、JEAG4102は民間規格としてユーザーである事業者が適切に判断して活用できていたと考えている。
- ・ 原子力規格委員会のホームページで各規格について紹介しているが、法令の改正に対する取扱いについてユーザーへの周知はしていたのか。最新知見の速やかな反映が民間規格には求められている。法令改正等を即座に反映することは物理的に無理だが、ホームページ上での周知等、最新知見を速やかに取り込むような活動をしなければいけないと考える。今回の中間報告の内容とは直接関係しないが、きちんとした意識を持って頂きたいと考える。
- ・ EALの大きな分類については変更がなく、規格本文に対する影響はないことは理解した。附属書は各EALの詳細であるため、原子力災害対策指針の改正に伴い修正が必要になったという理解で正しいか。
- そのとおり。
- ・ 附属書別表について、法令等の文言そのままではない、規格としてオリジナルな情報や記載はどこか。
- 別表中のEAL番号、EAL略称、EAL等は法令等と同じことが記載されている。解釈等の部分については基本的には日本電気協会のオリジナルとなっている。オリジナルではあるが、国との議論を踏まえたものである。
- ・ 本件に関しては中間報告であり、10月10日(木)から11月9日(土)の約1ヶ月間で意見募集を行う。事務局から別途依頼を発出するので、事務局までご意見・質問があれば提出をお願いします。

(5) その他(その1)

1) JEAC4216改定案書面投票時のご意見対応状況(報告)

事務局より、資料 No.91-4-1-1に基づき、JEAC4216改定案書面投票時のご意見対応状況について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 特になし。

2) JEAC4622-2009「原子力発電所中央制御室運転員の事故時被ばくに関する規程」の誤記対応について(報告)

安全設計分科会 安全設計指針検討会 板東主査より、資料 No.91-4-2 に基づき、JEAC4622-2009「原子力発電所中央制御室運転員の事故時被ばくに関する規程」の誤記対応について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 特になし。

3) 2024 年度 JEAC4111 実務コース講習会の実施について(報告)

事務局より、資料 No.91-4-3 に基づき、2024 年度 JEAC4111 実務コース講習会の実施について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 今何人位の方が参加するか分かるか。

→ 事務局だが、まだ参加人数までは把握していない。(その時点で 107 名 開始時点 115 名)

- ・ 本講習会については、原子力規制庁の職員の方々にも是非参加して欲しい。

→ 現状、分科会常時参加者の 2 名の方を招待している。(その後追加をお願いし+2 名となった。)

- ・ 他の原子力規制庁の方にも参加頂くようお願いしてもらいたい。また、今出席している原子力規格委員会委員の方も興味があるようであれば参加して頂きたい。

→ 講習会の期間に入っても受付しているので、是非お願いする。

(6) 基本方針策定タスク案件の審議・報告

1) 第 9 回原子力規格委員会シンポジウムの結果について(報告)

事務局より、資料 No.91-5-1 に基づき、第 9 回原子力規格委員会シンポジウムの結果について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 12 月にアンケート等の集計した結果について報告をお願いする。

2) JEAC4201 追補版/JEAC4206 追補版技術評価について(報告)

事務局より、資料 No.91-5-2 に基づき、JEAC4201 追補版/JEAC4206 追補版技術評価の対応状況について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 特になし。

3) 検査制度見直しに関する国の動向等(報告)

事務局より、資料 No.91-5-3 に基づき、検査制度見直しに関する国の動向等について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 質問であるが、ATENAが民間規格の技術評価については窓口となっており、原子力規制庁との会合を実施していると思うが、その場には日本電気協会は出席しているのか。
- 事務局だが、現状は出席していない。
- ・ 検査制度見直しに関する国の動向等については、そもそもの心は、日本電気協会の事務局が、日本電気協会内だけで閉じた視点を持つのではなく、規制の方に積極的に出ていき視野を広げていって欲しいというその当時の委員長の意図があり、それで継続してお願いをしているということになる。その頃と比べると、民間規格の検討がATENAと原子力規制庁の会合に移行したということもあり、場合によっては日本電気協会の事務局として積極的なコミットメントをして頂くのも良いかと考える。ATENAの意向もあるので、一概に日本電気協会事務局が出ないといけないうことも出来ないが、ATENAとも検討して欲しい。

(7) 原子力関連学協会規格類協議会案件の報告

1) 規格策定段階における原子力規制庁と学協会の積極的な議論推進に向けた取り組みについて(報告)

事務局より、資料 No.91-6-1 に基づき、規格策定段階における原子力規制庁と学協会の積極的な議論推進に向けた取り組みについて報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 現場のレベルを考慮すると、「2.発言例示の作成」が重要であり、特に技術評価に関係する規格については、原子力規制庁職員が出席する時には、原子力規制庁職員の意見を積極的に取り込むことが必要である。原子力規制庁職員により個性があるので、意見を言い損ねてしまうとか、意見を言おうとしたが、話題が変わってしまい言えなかったとか、そもそも性格により意見を発言することに対して躊躇するとか、色々な職員がいるということもあるので、会議を開催する側は意見を引き出すようにして頂きたい。それにより規制側との対話も深まることになるので、ボトムアップ形態ではあるがお願いしたい。

2) 技術評価を希望する学協会規格(報告)

事務局より、資料 No.91-6-2 に基づき、技術評価を希望する学協会規格について報告があった。

主なご意見・コメントは以下のとおり。

- ・ 特になし。

(8) その他(その2)

1) 前回議事録確認

阿部委員長より、資料 No.91-7-1 に基づき、前回議事録の紹介があり、正式議事録にすることについて、審議の結果、特にコメントはなく承認された。

以上

第91回原子力規格委員会配付資料

資料 No.91-1-1	原子力規格委員会 委員名簿 (2024年10月9日現在)
資料 No.91-1-2	原子力規格委員会 分科会 委員名簿 (案) (2024年10月9日現在)
資料 No.91-2-1-1	新規格「原子燃料に関わる臨界安全指針」の上程について
資料 No.91-2-1-2	原子燃料に係る臨界安全管理指針 JEAG 4225-202x (分科会上程コメント反映案) r3.7
資料 No.91-2-1-3	原子力規格委員会への中間報告 (2023.9.27) における委員からのコメント対応方針 について
資料 No.91-2-1-4	原子燃料分科会委員からのコメント対応方針について{1回目中間報告(2023.5.10), 2回目中間報告(2023.8.10), 上程(2024.4.19)}
資料 No.91-2-1-5-1	「原子燃料に係る臨界安全管理指針」の規格委員会中間報告時の委員コメント及び JEA コメントの反映案に係る修正前後比較表
資料 No.91-2-1-5-2	「原子燃料に係る臨界安全管理指針」の分科会上程案に係る中間報告コメント反映 案からの修正前後比較表
資料 No.91-2-1-5-3	JEAG4225 原子燃料に係る臨界安全管理指針 修正前後比較表
資料 No.91-2-1-6	規格制改定時に対象とした国内外の最新知見とその反映状況
資料 No.91-3-1-1	原子力発電所の緊急時対策指針(JEAG4102-2020)の改定について
資料 No.91-3-1-2	原子力発電所の緊急時対策指針 JEAG4102-202X 改定案
資料 No.91-3-1-3	「JEAG4102-202X 原子力発電所の緊急時対策指針」新旧比較表
資料 No.91-3-1-4	JEAG4102 改定案 (中間報告) に関する運転・保守分科会から頂いた意見等
資料 No.91-4-1-1	JEAC4216 「フェライト鋼の破壊靱性参照温度 T_0 決定のための試験方法」改定案 に関する書面投票の結果について
資料 No.91-4-2	JEAC4622-2009 の誤記について
資料 No.91-4-3	「JEAC 4111-2021 原子力安全のためのマネジメントシステム規程」2024年度 実務コース講習会(オンデマンド配信)の開催について
資料 No.91-5-1	第9回 日本電気協会 原子力規格委員会シンポジウム プログラム
資料 No.91-5-2	NRA 技術評価実施状況について
資料 No.91-5-3	検査制度見直しに関する国の動向等
資料 No.91-6-1	規格策定段階における NRA と学協会の積極的な議論推進に向けた取組みについて
資料 No.91-6-2	技術評価を希望する学協会規格
資料 No.91-7-1	第90回原子力規格委員会 議事録 (案)
参考資料-1	日本電気協会 原子力規格委員会 規約
参考資料-2	日本電気協会 原子力規格委員会 活動の基本方針
参考資料-3	日本電気協会 原子力規格委員会 規程・指針策定状況
参考資料-4	日本電気協会 原子力規格委員会 委員参加状況一覧